PRESS RELEASE

令和７年８月７日

報道機関各位

長門市産「長門ゆずきち」の出荷に向けた目合わせ会の開催について

長門ゆずきちの会では、８月 18 日から県オリジナル柑橘(かんきつ)「長門ゆずきち」を出荷する予定です。これに先立ち、品質の揃った青果を出荷するため、関係者による「目合わせ会」を開催します。

日時： 令和７年８月 12 日（火曜日） 午前 10 時から午前 11 時まで

場所： JA 山口県俵山支所（長門市俵山 4907−2）

主催：JA 山口県長門統括本部（長門統括本部長：宗本(むねもと)雅彦(まさひこ)）
長門ゆずきちの会（会長：杉本(すぎもと)健二(けんじ)）

内容：生産者が、現物を見ながら収穫・出荷方法や規格を確認

参加者：長門ゆずきち生産者、関係者 約 20 人

本件に関するお問い合わせ先
ＪＡ山口県長門東部営農センター 担当：林(はやし)、古谷(ふるや)
（Tel：0837−22−3170）

＜参考＞

○　長門ゆずきち

　爽やかな香りとまろやかな酸味があり、果汁が多く搾れるのが特徴の香酸柑橘で、やまぐちブランドに登録されています。色々な食材や飲料との相性が良く、素材の味をひきたてます。長門市、萩市、下関市で産地化されています。

○　長門ゆずきちの会（長門市）

　平成 10 年に結成され、長門市俵山地区を中心に植栽を開始し、平成 14 年から出荷を開始しました。現在、会員 26 人が約 3.5ha で栽培し、昨年は約 33.4ｔの果実を青果、加工用として出荷しました。

○　今年の出荷時期等

　長門市産の長門ゆずきちは、青果が 8 月 18 日から県内の徳山、防府、岩国、長門等、県外では大阪の市場等へ出荷される予定です。また、加工用は、9 月下旬から加工業者に出荷される予定です。